



国際関係学科「旅の写真展」とは

◆ 「旅の写真展」は、2011年から毎年開催している国際関係学科の特色ある行事です。留学、海外調査、ボランティア、個人旅行などで世界を踏破する学生たちが、自慢の写真を持ち寄って自作のパネルを作り、学内外で公開展示してきました。

◆ 旅先の楽しい体験を他の人たちと分かち合いたい！という学生たちの自発的な課外活動から始まり、恒例行事となり、やがて学科専門科目「プロジェクト型演習」の授業の一環として単位を取れる正課にも位置付けられ、本学科を代表するユニークな取り組みとなりました。

◆ この10年間の出展写真総数は735点を数え、撮影地は世界82の国・地域に及びます（地図参照）。世界中で学生が活躍する本学科の特色をよく示す行事であるとともに、教育成果の発信、地域貢献の役割をもあわせもっています。

◆ 今回の企画展示では、本学科の学生や教員が、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、北米、中南米、オセアニアの各地で自ら撮影してきた写真作品79点を公開展示しています。グローバル化する世界のいまを活写する学生たちの美しく迫力ある成果の数かずを、どうぞお楽しみください。

※ 会期中の11月始めに大幅なリニューアルをしました。
会期の前半（9～10月）と後半（11～12月）で、
写真作品のすべてが入れ替わりました。